

産業能率大学 情報マネジメント学部

英語 I B	履修年次	1	
	単位	2	
大塚 星太郎、重盛 ひろみ	配当期	前	
	授業方法	演習※ / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>授業および授業外学習では、英語の知識を確認し、技能養成のために繰り返し練習を行う。英語の基本はマスターしたと自信を持って言えるようになることが目標。本科目の学習活動は次のとおり:</p> <p>(1)「バンクーバー発音の鬼が教えるネイティブ発音の極意」: 本学が独自に開発したりチャード川口先生の映像教材で英語の正しい発音の仕方を学び、練習用アプリ(発音道場)で繰り返し復習を行う。</p> <p>(2) New Connection Book1(以下NC)前半部分: 大学生が日常で使う基本的な語彙や会話表現を学習し、技能(聞く、話す、読む、書く)を向上させることを目的とした活動を行う。授業時間は、知識の確認、練習の成果の発表、ペアワーク、グループワークの場となる。効果的な活動のために個人の予習復習、練習は欠かせない。</p> <p>(3) First Voyage (以下FV)前半部分: 授業では、文法項目を確認し、英訳や日本語訳など授業外学習の成果を発表する。口頭で英文を組み立てる練習は「話す」技能につながる。繰り返し練習を行うこと。</p> <p>外国語の学習でもっとも大切なことは、学習する側の主体性、「英語を身につけよう」という姿勢である。さらに、一人ひとりの積極的な参加が全員の成果につながると考え、間違いを恐れず、恥ずかしがらずに英語で話したりパフォーマンスしたりすることを大いに期待する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・英語運用能力(聞く、話す、読む、書く)を養成する学習スキルの基本が身についている。 ・その成果として、文法知識や語彙を運用する能力が本科目履修前より向上している。 ・発音練習を続けることで、ネイティブに近い発音ができるようになる。 ・英語学習を通じて学んだ学習スキルを、英語以外の外国語学習にも応用できる。 			
成績評価の方法			
授業出席、授業外学習、小テスト、課題、及び定期試験の結果により総合的に評価する。			
週	授業項目	週	授業項目
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・動画で発音練習① ・Meeting People ・Be 動詞と一般動詞 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・Shopping for Clothes ・復習、小テスト
2	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習② ・Meeting People ・否定文と疑問文 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑦ ・A Helping Hand at Home ・受動態
3	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習③ ・Timeto Eat ・助動詞 	10	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑧ ・Going Places・完了形 ・Reading 報告3
4	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習④ ・Timeto Eat ・第1文型と第2文型 ・Reading 報告1 	11	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑨ ・Going Places ・第5文型(知覚・認識)
5	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑤ ・Living with Technology ・進行形 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑩ ・Not Feeling So Good ・第5文型(使役・許可)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・動画で発音練習⑥ ・Living with Technology ・第3文型と第4文型 	13	<ul style="list-style-type: none"> ・Not Feeling So Good ・Reading 報告4
7	<ul style="list-style-type: none"> ・Shopping for Clothes ・比較1 ・比較2 ・Reading 報告2 	14	復習・小テスト定期試験の準備